



インターハイの贈り物

8月7日（土）

本校から女子ソフトテニス部と陸上競技部が今夏のインターハイに参加しました。女子ソフトテニス部は、宮城県の強豪東北高校ペアとの対戦になりました。全国大会の舞台でも物怖じすること無く、ゲームカウント3-4と善戦しましたが惜しくも1回戦での敗退となりました。

また、陸上競技部は男子4×400mリレー予選に出場しましたが、4組5着で準決勝には進めませんでした。台風が接近中で強い雨風に悩まされながら力走する姿を目にすることができました。レース後、陸上競技部顧問の河原井先生と話した内容が印象に残ったので紹介します。

河原井先生談（要旨）

悪コンディションながら関東大会のタイムを大きく下回ったのは、とても残念でした。でも、選手みんなには感謝しています。レース結果は悔しいはずなのにみんな笑顔なんです。応援に来てくれたそれぞれの家族の皆さんも笑顔でした。「沖縄にみんなで来られて良かった。」「有り難うございました」と声を掛けて頂きました。今回のメンバーは、素晴らしい記録を出してインターハイに出場しました。それだけでも素晴らしいのに、私を含めて周りの人たちを幸せにしてくれました。スポーツの持つ力を改めて感じました。これからも良いチーム・選手を育ててインターハイを目指します。



